

第2回地域おこし協力隊等ネットワーク化ワークショップの報告について

1 ワークショップの日時及び参加者数

(1) 矢巾会場

令和3年11月8日(月) 13:30~16:00 11名

(2) 釜石会場

令和3年11月11日(木) 13:30~16:00 11名

(合計延べ22名)

2 ネットワークの活動内容、形態等に係る主な御意見

○ネットワークの認知度向上と参加者増大に関すること

- ・今回のネットワーク組織は外から何をしているのか見えることが大事。参加者が裾野を広げる活動をして共感できる人を募り、参加者を増やすのがよいと思っている。
- ・協力隊やOBOGはそれぞれ個人の業務で忙しいため、それでも参加したいと思わせるような組織にしていかないともったいないと感じる。
- ・特に悩みを抱えていない隊員等もいると思うが、ネットワークに参加する必要がない場合や参加したくない場合は参加しなくてもよいのか。

(対応)

- ・ネットワークの活動に際しては、現役隊員等、OBOGの御意見を取り入れて、当事者の活動・事業等の充実に資するもの、多くの方から共感を得られるものにしていくことが重要。
- ・また、それら活動の様子や、ネットワークの活動が参加する現役隊員等、OBOGのいずれにもメリットがあるものであることを広く周知していくことで、参加者の増加を図ることが重要。

○活動内容に関すること

- ・協力隊1年目の業務はとて難しく、自治体のことを知るだけで精一杯なので、初任者研修はあった方がよい。

○その他

- ・理事の人選については、地域のバランスを考慮した方がよいのではないかと。